

未来を拓く 「暮らしの安心都市圏」戦略



水戸市の人口がつくば市に超されたという事実は、私たちの地域が大きな転換点にあることを示しています。いま必要なのは、市や町の枠を越えて命と暮らしを守るための「解決策」を実行する力であり、これは正しく県の役割です。

私は、水戸市の医療・商業・雇用の強みと、城里町の豊かな自然、そして農業生産を一体で生かす「暮らしの安心都市圏」を提案します。

医療、子育て、交通、防災といった課題に、市や町がバラバラに取り組む時代は、もう終わりです。地域全体で仕組みを共有し、デジタル・AIの最新技術も活用しながら、限られた予算で効率よく安心を支える。この積み重ねが、「ここに住んで良かった」と実感できる地域をつくり、それが新しい仕事と人を呼び込む成長につながります。

水戸の歴史と文化を大切に継承しながら、それを現代の技術で未来へつなぐ。茨城県を支え、牽引する存在となることこそが、この地域の価値をさらに高めていく道だと、この地に生まれ育った私は確信しています。

玉造 順一

水戸に生まれて55年。地域の人々とともに歩んできました

玉造 順一 プロフィール

1971年11月水戸市本町生まれ
浜田小、水戸二中、緑岡高校卒業
茨城大学人文学部社会科学科卒業
同大学院人文科学研究科修士課程修了
労働金庫に8年間勤務
2003年水戸市議選初当選(3期)
2018年茨城県議選初当選(2期)
現在：立憲民主党茨城県連代表
茨城県郷土文化研究会顧問など
趣味：カラオケ・スキー、読書



玉造順一事務所

〒310-0815 水戸市本町1-10-11
TEL 029-303-1255 FAX 029-303-1260
jtama.office@gmail.com

つながる
玉造 順一
LINE公式



県政報告会など最新情報は、
こちらで発信しています。



立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088

新しい地域のカタチ。 水戸市と城里町を

「暮らしの安心都市圏」へ

政策と活動を紹介します。

茨城県議会議員
玉造 順一
たまつくりじゅんいち

玉造順一

「暮らしの安心都市圏」を 実現する重点政策



夜間や休日、必要な医療は 受けられるのだろうか



01

安心できる医療と子育て、 障がいがあっても暮らせる、孤立しない地域をつくる

県立病院等の再編を機に、充実した地域医療と介護を構築。県民誰もが利用できる24時間オンライン診療導入で、高齢者や子育て世代の不安をなくします。子育ての負担軽減や病児保育に取り組む市町村連携を県が強力に支援し、障がいがある方も、家族も、安心して暮らし続けられる「福祉の安心網」をつくります。単身高齢者や若者の孤立も全世代で防ぎます。



子どもは安心して学び、 過ごせているのだろうか



02

学校と家庭を、 地域と技術の力で支える

教員業務支援員の全校配置やデジタル化で、先生が子どもと向き合う時間を確保。放課後の居場所づくりで共働き世帯を支え、登下校支援を地域全体に広げます。不登校やいじめにもオンライン学習や相談窓口を拡充して寄り添います。



給料が増えず、人手不足だけが 深刻化しているのでは



03

働ける・続けられる 「広域経済圏」をつくる

中小企業の人材確保や賃上げ、女性の就労を支援し、長く働ける環境を整備。農業では先端技術を一括導入して低コスト化を進めるとともに、兼業や退職後の就農支援策を充実させ、次世代が継ぐ農政を進めます。首都圏などの消費市場と茨城の生産力を強力に結び、広域経済圏を築きます。



通院や買い物に困らない 移動手段は確保されているか



04

通える・暮らせる交通と 「移動の安心網」をつくる

AI 乗り合いバスや自動運転などの新技術で、自治体と事業者の負担を抑えつつ利便性を向上。免許返納後も移動に困らないよう、水戸の総合病院や商業施設などへスムーズにお出かけできる連動型交通ネットを再設計します。



豪雨や災害が増える中で、 備えは大丈夫だろうか



05

日常の安全と 「防災・インフラ」を賢く守る

データと検査に基づく計画的修繕で上下水道や橋などの大事故を防ぎ、将来のコストを賢く削減。河川や道路の安全対策を県と市町一体で進めます。災害時には行政の枠を超えて情報共有するシステムを構築し、施設操作や広域避難、物資供給を円滑にします。

